

## IBM i帳票データの 統合的ソリューションを提供

日鉄日立システムエンジニアリング株式会社 ▶ <http://www.nhs.co.jp/>

帳票は、ビジネスには欠かせないアイテムである。それは、進行中の業務を1つの切り口でまとめた結果であり、次の業務の起点となる。それゆえ、帳票の作成・運用・保管・管理といった一連の作業を効率的に安全・確実に行うことは、ビジネスのパフォーマンスを左右するという点で、非常に重要である。

1992年に前身の製品(Paples)がリリースされたPaplesWeb(パピレスウェブ)は、すでに20年の歴史と約300社の導入実績を持つ統合帳票ソリューションである。

特徴は、帳票業務に関わる多様な機能をオールインワンで備える点で、帳票用データの取り込みから、設計、作成、出力、保存、廃棄にいたる全領域をカバーしている。

帳票データの取り込み先は、メインフレーム(IBM、日立、NEC、ユニシス)

とオープンシステム(UNIX、Linux、Windows)やRDBやCSVなどの汎用データが挙げられる。特にオープンシステムから吐き出される帳票データは現在特許申請中のドライバ(Paplesドライバ)を用いてシームレスに取り込むことが可能だ。

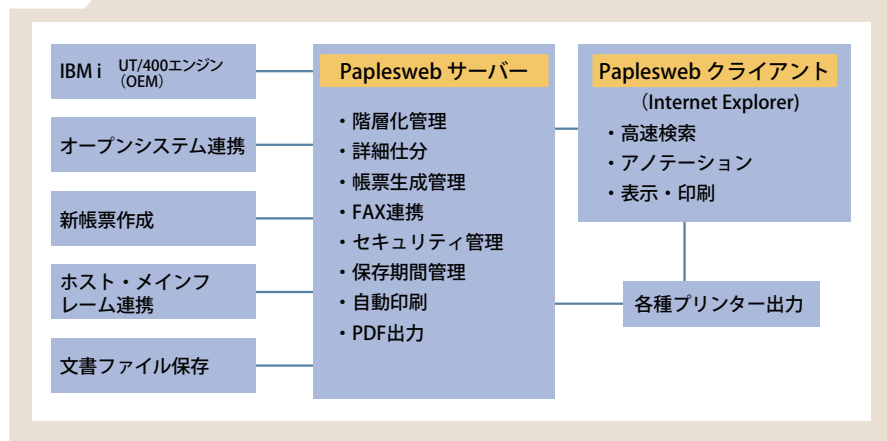
これらの取り込みでは、各システムの罫線や文字コードをPaplesWeb用に変換し、レイアウトどおりのデータを保持できる。これにより、各システムの帳票をPaplesWebの機能を使い、多様な形で展開・活用することができる。

帳票機能として、開発分野ではプログラムレスを実現した帳票作成機能(PaplesReports)のほか、出力・運用分野では、指定プリンタ・FAXへの自動配信や分散印刷、部門コードなどを自動判別して指定フォルダへ振り分ける仕分機能、作成された電子帳票を

CSVやテキスト形式で保存したり、クリップボード経由で複写できるようにする2次活用機能などを装備。また管理分野では、電子帳票の高速検索機能やオフィス系データ(Word、Excelなど)を統合管理する文書ファイル管理機能、セキュリティ分野では、参照権限管理機能、アクセスログ管理機能などを備えている。

こうした多彩な機能を持つPaplesWebが、IBM iの帳票データを取り込む部分にアイエステクノポートと共同開発したモジュールをオプション製品にしたソリューションの提供がこの10月から始まった。IBM iユーザーにとっては、IBM i上の帳票データをさまざまな形態で出力・保存する際に、一元的な運用が可能になる。IBM iの帳票ソリューション分野に、また1つ、強力な製品が加わったといえるだろう。🌀

図表 Paplesweb の製品概要



### Product Information

- 発売：2010年(IBM i向けソリューションは2011年10月)
- 価格：要問い合わせ
- 稼働環境：  
Windows Server 2003 Standard /  
Enterprise Edition以降